

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成23年10月6日(2011.10.6)

【公表番号】特表2010-536380(P2010-536380A)

【公表日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-048

【出願番号】特願2010-522029(P2010-522029)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 15/113 (2010.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 15/00 Z N A G

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 9/127

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

A 6 1 K 48/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月19日(2011.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱ショックタンパク質の発現を阻害する、単離した二本鎖リボ核酸(d s R N A)分子であって、前記 d s R N A が 2 本のヌクレオチド鎖と、第 1 鎖の 3' 末端を第 2 鎖の 5' 末端に結合させる結合部分とを含み、第 1 鎖が 19 ～ 28 個の連続ヌクレオチドの長さを示し、標的遺伝子中の配列と実質的に同一であり、第 2 鎖が第 1 鎖に対して実質的に相補的である、単離した d s R N A。

【請求項 2】

標的遺伝子が配列番号 3 を含む、請求項 1 に記載の d s R N A。

【請求項 3】

第 1 鎖が配列番号 4、5 又は 6 を含む、請求項 1 に記載の d s R N A。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の d s R N A を含む細胞の形質導入のためのベクターファミリー。

【請求項 5】

ベクターがレトロウイルスベクターか又はレンチウイルスベクターである、請求項 4 に記載のベクターファミリー。

【請求項 6】

増殖性障害を治療するための、請求項 1 に記載の d s R N A の治療量を含む薬剤であって、該増殖性障害が腫瘍増殖により証明される、上記薬剤。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の d s R N A と賦形剤とを含む、医薬品組成物。

【請求項 8】

配列番号 3 と実質的に同一であるヌクレオチドの第 1 鎖と、第 1 鎖に対して実質的に相補的である第 2 鎖とを含む、単離した二本鎖リボ核酸分子。

【請求項 9】

配列番号 3 中に提示される配列を含む核酸分子によりコードされているタンパク質の発現を阻害し、d s R N A の第 1 鎖が配列番号 3 と実質的に同一であり、第 2 鎖が第 1 鎖に対して実質的に相補的である、単離した二本鎖リボ核酸。